

利根町教育委員会定例会会議録

令和3年10月25日 午後3時30分開会

1. 出席委員

教 育 長	海老澤 勤 君
教育長職務代理者	佐藤 忠信 君
委 員	石井 豊 君
委 員	長岡 純子 君
委 員	巻島 久 君

1. 欠席委員

な し

1. 出席事務局職員

学校教育課長	中村 寛之 君
指導課長	池田 恭 君
生涯学習課長	桜井 保夫 君
学校教育課長補佐	布袋 哲朗 君
学校教育課係長	辰尾 尚美 君

1. 議事日程

議 事 日 程

令和3年10月25日（月曜日）

午後3時30分開会

日程第1 報告第24号 利根町教育委員会後援名義の使用承認（令和3年9月分）について

日程第2 その他 住民票及び印鑑証明書の交付に伴う補助執行事務について

1. 本日の会議に付した事件

日程第1 報告第24号 利根町教育委員会後援名義の使用承認（令和3年9月分）について

日程第2 その他 住民票及び印鑑証明書の交付に伴う補助執行事務について

午後 3 時 30 分開会

○教育長（海老澤 勤君） お忙しい中お集まりくださいます、ありがとうございます。
ただいまより、令和 3 年 10 月の教育委員会定例会を開催いたします。
今日、ご審議いただく議案は、1 件、その他 1 件の計 2 件でございます。

○教育長（海老澤 勤君） 報告第 24 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認（令和 3 年 9 月分）についてを議題といたします。

担当課長に説明を求めます。

○学校教育課長（中村寛之君） それでは、報告第 24 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認について、令和 3 年 9 月分についてご説明いたします。

1 ページをお開きください。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 25 条第 3 項及び利根町教育委員会事務委任規則第 4 条第 2 項の規定により報告するもので、1 件の申請があり、承認をしたものでございます。

次のページの別紙をご覧ください。

令和 3 年度茨城県中学校新人体育大会が令和 3 年 10 月 26 日（火）から令和 3 年 11 月 7 日（日）まで、笠松運動公園陸上競技場ほか 9 会場におきまして開催されるものでございます。

目的といたしましては、県内の中学校 1・2 年生がスポーツに親しむことを通じて、健康増進と体力の向上を図るとともに、選手同士がお互いに理解し合い、友好親善を深め、明るく豊かな中学生生活の実現を図るなど、県内スポーツ振興に寄与することを目的として開催されるものでございます。競技種目といたしましては、陸上競技のほか 8 種目ということで開催されます。

説明は以上でございます。

○教育長（海老澤 勤君） 説明が終わりました。

ご意見、ご質問などございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ないようですので、報告第 24 号 利根町教育委員会後援名義の使用承認（令和 3 年 9 月分）につきましては、原案のとおり承認いたします。

○教育長（海老澤 勤君） 続きまして、日程第 2 その他でございますが、住民票及び印鑑証明書の交付に伴う補助執行事務について、生涯学習課長より報告があります。

○生涯学習課長（桜井保夫君） それでは、資料をご覧ください。

住民票及び印鑑証明書の交付に伴う補助執行事務についてご説明いたします。

こちらは、図書館におきまして、住民票、印鑑登録証明書の交付を、予定ですけれども、令和 4 年 2 月から実施するものでございます。

現在は、生涯学習センターのみで実施しております。

裏面をお願いします。

一番上の利根町長の権限に属する事務の委任及び補助執行に関する規則の一部改正案でございます。

現行が、補助執行させる事務の(7)利根町生涯学習センターにおける住民票の写し及び印鑑登録証明書の交付並びに当該交付に関わる手数料の徴収に関することとなっておりますが、改正案では、(7)に利根町図書館を加えるものでございます。

説明は以上でございます。

○教育長(海老澤 勤君) 説明が終わりました。

質問などございますか。

○委員(石井 豊君) 住民票と印鑑証明書の発行を生涯学習センター及び図書館で行うということですが、歳入のほうは、住民課、町部局の収入になるのか、教育予算の収入になるのか、どのような取扱いになるのか教えていただきたいのと、交付した際の収入命令はその時点、その日というわけにいかないと思いますが、早くて翌日なのか、それとも1か月単位とか3か月単位なのか、その辺もお伺いできればと思います。

○生涯学習課長(桜井保夫君) 収入については、1か月単位でまとめまして、それを教育委員会ではなく、町の一般収入に入れるという形になっています。

○委員(石井 豊君) 分かりました。ありがとうございます。

○教育長(海老澤 勤君) そのほか、いかがですか。

○委員(佐藤忠信君) 補助執行ということで、いわゆる首長のほうの役場の住民課職員と教育委員会事務局職員というのは、また別な法律で多分縛られていると思いますが、補助執行により法律的には可能だと思いますが、徴収について可能なものなのか。

○生涯学習課長(桜井保夫君) 今おっしゃられたとおりで、現金の取り扱いをしてもいいという届出をしまして、それに携わる図書館の職員全員に許可をもらい、現金取扱いの資格があるという上で実施するということになっております。

○委員(佐藤忠信君) 分かりました。

イメージ的には、住民課の職員の方が出向して扱ったほうが良いのではないかと思ったので質問をいたしました。

○生涯学習課長(桜井保夫君) 生涯学習センターですが、今年度4月から9月までの発行枚数が、住民票が4件、印鑑証明書が14件ですので、出向して行うほどの数になっていないということで、現状では補助執行事務ということで、図書館の職員、教育委員会の職員が取り扱うようになっております。

○委員(佐藤忠信君) 分かりました。ありがとうございます。

○教育長(海老澤 勤君) 今日の資料を見ていただくと、一番上のところに分掌事務がございまして、これまでの住民課の分掌事務のうち、生涯学習センターの分掌事務欄の三つの事務につきましては、教育委員会事務局職員が補助執行事務として取り扱っておりますので、

同じことを図書館で行うということです。そのために教育委員会で承認を頂いて、確認をいただければというところです。

そのほか、いかがですか。

○委員（巻島 久君） 実施時期ですが、生涯学習センターでは令和3年2月19日から実施していて、図書館は令和4年の2月から実施するという解釈でよろしいわけですか。

○生涯学習課長（桜井保夫君） そうです。

○委員（巻島 久君） 分かりました。

きっと、いろいろな形でPRするでしょうけれども、一般の方が分かっていなくて利用頻度が少ないということもあるかもしれないので、広報やホームページなどでPRをたくさんしたほうが良いと思います。

○生涯学習課長（桜井保夫君） 今おっしゃられたとおりで、生涯学習センターも、令和3年、最初の数か月は、本当に1件か2件くらいしか来られなかったですけども、やはり土曜日、日曜日を取れるということで利用される方もいらっしゃいます。

○委員（巻島 久君） そうですよ。土曜日とか日曜日もやってもらっていて、時間も午後5時過ぎまでやってもらっているの、ありがたいなと思います。住民の利便性を考えてセッティングしているのに、利用者が少ないというのは、やっぱりPR不足だと思いますので、お願いをしたいと思います。

○生涯学習課長（桜井保夫君） PRのほうは、今よりもっと十分にやっていきたいと思っております。

○委員（巻島 久君） ありがとうございます。良いことだと思います、本当に。

○教育長（海老澤 勤君） そのほか、いかがですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ないようでしたら、次に移ります。

○教育長（海老澤 勤君） その他で何かございますか。

○委員（長岡純子君） 俳句の件、ありがとうございます。とても良い俳句もあって、良かったと思います。若い人たちが今からやれば、どんどんベテランになっていくので、いずれ指導者になってもらいたいと思います。本当にありがとうございます。

それから、9月にタブレットの持ち帰りを行っていましたが、スムーズにいったのですか。大丈夫でしたか。

○学校教育課長補佐（布袋哲朗君） タブレットを各家庭に持ち帰っていただきました。基本的には、Wi-Fi環境が整っている家庭は接続ができていう状況です。

ただ、Wi-Fi環境が整っていないご家庭もありまして、現在、調査をしている段階で、この間持ち帰ったときに、ご自宅にはWi-Fi環境が整っていないけれども、おじいちゃん、おばあちゃん宅にはあるという家庭もありました。今後、毎日持って帰るようなことも指導課を中心に検討しているところなので、あくまでもご自宅で接続できるかできないかというこ

とを再度アンケートさせていただきまして、持っていないご家庭に関しましては、モバイルルーターを貸し出しするのか、もしくはご自宅で整備していただくのか、それはまた12月の冬休みまでには、方向性を決めたいと考えております。

○委員（長岡純子君） ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） そのほか、いかがでしょうか。

○委員（佐藤忠信君） ある議員の方から区長宛てに、朝の時間帯にセブンイレブンの前の交差点が、車がなかなか止まらなくて、子供たちが渡れないので、信号を設置できないかという要望をしてくれないかという話が来ました。1時間に300台だったかな、車両が通行していないと信号の設置ができないという話もありますが、通学路にもなっていますので、見直しが必要ではないかなという話です。実際、そういう話は上がってはきていないですか。

○学校教育課長（中村寛之君） 上がってきております。すでに取手警察署に、県議会の議員さんと、町議会の議員さん、それから町長も一緒に行きまして、要望書を取手警察署にお渡ししており、そこから今度、茨城県公安委員会に要望書が提出されると思います。

ただ、それが今言ったとおり、すぐということになるかどうかは分かりませんが、一応そのような要望はさせていただいたということ聞いております。

○委員（佐藤忠信君） そこに限らず、通学路全般、今見直しているところだと思いますが、ニュース報道で車が抜け道でスピードを出していて、大体50キロ以上出ていると、死に至るケースが多いということで、ある地区では、国が示しているハンプ（凸部）という斜めになるスピードを落とすようなものを設置し、また、狭窄、狭くするような路面標示も併せて設置したところ、30キロ以下までスピードが下がっているという実験結果が出ていました。30キロまで落とせば、けがはするかもしれないけれども、死に至るケースは激減できますので、あそこの交差点もそういうものを設置するのも良いのかなと思いました。ただ、ハンプを乗り越えるときに、ガーンという衝撃音が近所にも響きますので、住民との話し合いも必要になるようですが、何かそういう工夫をして、通学路の安全確保について、今後検討していただければというところです。

○教育長（海老澤 勤君） 最近の新聞記事で見たのですけれども、横断歩道の白い白線が立体的に運転席から見えるというのも、一つだと思います。

あと、懸案であった通学路の点検をこの間まとめたと思うのですが、布袋補佐から一言お願いします。

○学校教育課長補佐（布袋哲朗君） 9月末に通学路の合同点検を実施しました。取手警察署、竜ヶ崎工事事務所、建設課、総務課、あと各学校の教頭先生に参加していただきまして、こちらの4-A会議室で、事前に録画した映像で点検をしていただきました。

先ほど言われました白鷺団地から四季の丘に抜ける交差点につきましても、押しボタン式の信号機をどうにか設置してもらいたいということで話をさせていただき、要望書を提出させていただいております。

ただ、先ほど言われましたとおり、300台とか350台の交通量はなかなか難しいのですが、

通学路を変更し迂回すると、横断する箇所も増えてしまうので、また別の意味で事故につながる危険もあるということで、担当者にはお伝えをして、要望書を提出させていただいたところ です。

その内容については、ホームページに一覧表を載せてございますので、何らかの対応していただければ、すぐではなくても、来年度以降に対応していただければというふうに思っているところ です。

○委員（佐藤忠信君） 分かりました。ありがとうございます。

○教育長（海老澤 勤君） そのほか、いかがですか。

○委員（巻島 久君） 今日の第 24 号議案に関係することですけれども、コロナの関係で部活動の練習が十分できない状態で、近隣、例えば取手市あたりは、新人戦を競技によっては市内大会だけにとどめて、上位の大会、県南大会、県大会につながらなくてもいいので、11 月に遅らせて実施しようみたいな動きがあるということをちょっと聞いたので、利根中学校は、新人戦などに向けてはどんな状況なのでしょう か。

例年と同じ大会日程だと思いますが、競技人口が少ない体操とかは、地区の予選はなくて、いきなり県大会になるので、この日程で実施すると思うのですけれども、バレー、バスケット、サッカー、野球とかについては、今現状どうなっているのかだけ教えていただければと思います。コロナの影響が全くなくて、例年どおり実施しているのか、遅らせて市内大会だけにとどめるようにしているとか、どんな感じなのでしょう か。

○学校教育課長（中村寛之君） 最初に、県の新人大会の種目だけ言わせていただいて、その後、指導課長のほうから町の状況等をお伝えします。

県大会につきましては、通常ですと 17 種目ありますが、今回開催されたのは、陸上、水泳、体操、ハンドボール、ソフトボール、相撲、弓道の種目が開催されております。

今、巻島委員からお話があったように、野球とか卓球とか競技人口が多い種目は、県大会を実施しない状況です。例年 17 種目あって、今年は 9 種目しかないという状況です。

○委員（巻島 久君） その背景には、地区のブロック大会を開催しないで、一発県大会になる種目だけを、この日程で行っているということですよ。

○学校教育課長（中村寛之君） それに近いものがあると思われます。

○指導課長（池田 恭君） 私自身も、正確にはまだ聞いてはいないのですけれども、新人大会については、どの市町村もやはりスタートが遅れたということがありますので、市郡大会のみという形で進んでいるという話を聞いております。

ですので、県大会につながるのは、基本的にはないのではないかなというふうに考えております。

○委員（巻島 久君） 今年は特例で、新人戦については、あまり他の地区との交流も配慮しなければならぬ時期ということもあって、市内大会までにとどめるということで動いているということですね。

○指導課長（池田 恭君） 時期的には、遅くなりますが、そうなります。

○委員（巻島 久君） 取手市の場合は、実施時期を3月頃に持っていかざるを得ないだろうとか、いろいろな案があって、まだ確定はしていないらしいです。

一番ネックなのは、高校受験がありますので、受験期が終わる前に実施というのは、なかなかそれも難しいのではないかとということで、受験が終わってからの3月という案も出ているというようなことも聞きました。

○教育長（海老澤 勤君） ご存じのように、9月いっぱいがコロナ感染の自粛期間ということで、県大会は、先ほど学校課長から説明があった種目のみで、そのほかの種目については、なしと伺っています。

市郡の大会は、北相馬郡の場合には、12月初旬を予定しているというふうに私は伺っていますが、それが決定した文書は、来ておりません。

ただ、新人大会なので、関東大会、全国大会につながる大会ではないので、県大会はないというふうに聞いています。

ただ、先週、駅伝の県南大会を笠松運動公園の競技場を使って、利根中学校も参加して、良い成績を収めたという報告が入ってきております。もしかすると競技、種目によっては、県南大会まであるのかなとも思っています。

○委員（巻島 久君） あと、それに絡んで、ワクチンを打つ打たないは個人の権利なんですけれども、中学生は任意で、半分くらいは打っているのですか。

○教育長（海老澤 勤君） 今日、午前中、校長会があって、ワクチン接種状況を表にして渡しましたが、ご存じのように、小学校6年生からワクチン接種が可能なわけで、学年が上がるにつれて接種率も上がって行って、一番高いのが、中3、15歳が8割強、全体として、9月末現在で私が集計した結果では、78%でした。

○委員（巻島 久君） 大分打っているんですね。想像より多くて、想像では半分くらいしか打っていないのかなとか思っていましたから。

○教育長（海老澤 勤君） あと、教職員については、小中学校とも全員接種済みです。

○委員（巻島 久君） 分かりました。ありがとうございました。

○教育長（海老澤 勤君） そのほかに何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○教育長（海老澤 勤君） ないようでしたら、令和3年10月の教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

午後4時10分閉会